

消費税大増税も、社会保障改悪も アベノミクスの5本の毒矢



景気や暮らしに悪影響を及ぼす消費税増税は中止をと訴える
日本共産党 たつみコータロー府暮らし・雇用対策委員長

アベノミクスで本当に景気や暮らしは良くなるのでしょうか？ 株価と物価は上がるものの、国民の所得が増える保障はなく、デフレ不況を脱却できるのかは未知数です。3本の矢といわれるアベノミクスですが、その影に消費税増税と社会保障改悪の2本の毒矢が隠されています。

ほとんどの世論調査で国民の圧倒的多数が増税に反対。しかも67%の中小企業が消費税増税は業績に悪影響をもたらすと答えています。

導入24年 福祉に回らず 増税減らす

今年4月1日で消費税が導入から25年目を迎えました。「福祉のため」「高齢化社会に対応するため」との触れ込みで1989年に税率3%でスタート

トシ、97年には現在の5%となりましたが、社会保障制度はよくなるどころか改悪に次ぐ改悪です。来年度で国民が納めた消費税の総額は264兆円に達します。一方、同時に法人三税が246兆円も減少しており、消費税は福祉のためではなく、大企業の法人税の穴埋めに使われてきました。また消費税購買力を低下させ、GDPを大幅に押し下げる最大の要因となりました。

年間30万円の負担増 「よう払わん」の 声多数

昨年6月、自民・公明・民主の3党合意によって成立した「税と社会保障の一体改革法」により、来年4月には8%へ税率が引き上げられます。社会保障料の値上げや所得税・住民税の値上げも重なり、2016年度には年収

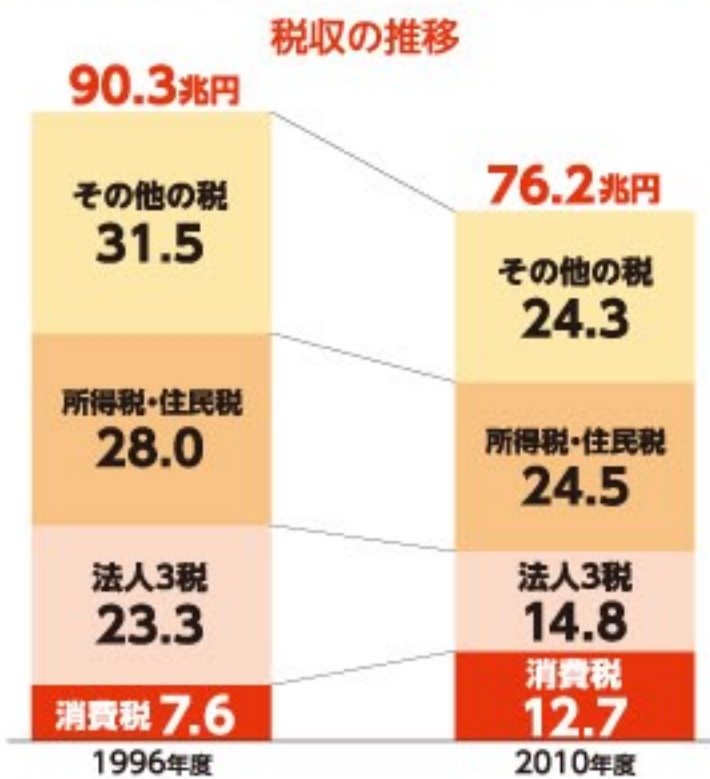
500万円の4人世帯で年間30万円もの負担増になります（大和総研調べ）。また、10月からは年金の引き下げも追い討ちをかけ、医療費の値上げも狙われています。

日本共産党のたつみコータロー府暮らし・雇用対策委員長は、「消費税増税はストップできます！」と、街頭での訴えや署名集めに取り組み、経済団体や弁護士会など、各種団体との懇談も強めています。

日本共産党の提案です

優遇されてきた大企業や富裕層に自分の負担を求め、原発推進予算や政党助成金などのムダを削れば、社会保障の充実と財政再建の両立は可能

消費税を増税しても 税収は上がらない！



2015年までに予定されている 負担増・給付減！



消費税増税ストップへ 日本共産党

仁比ろへい
山下よしき
小池晃
井上さつ子
紙智子

参議院選挙 制度解説
選挙区は 候補者名で。
比例代表は 政党名でも 個人名でも投票できます。

格差是正へ 突っ走る！

反戦平和胸に刻み
生活相談7000件

たつみコータロー

党府暮らし・雇用対策委員長

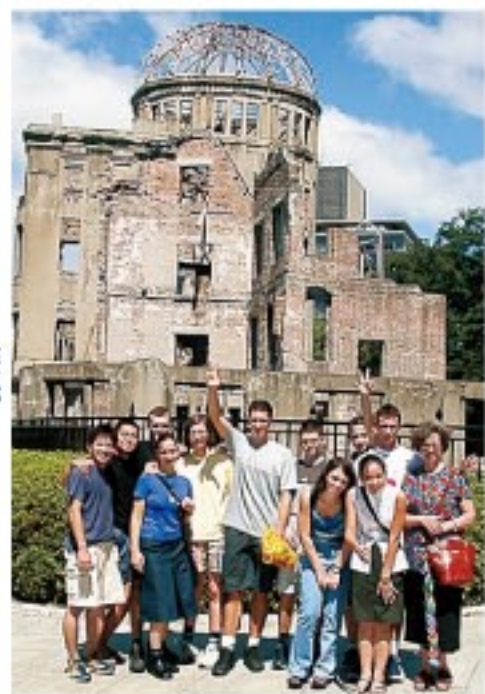


1976年生まれ、大阪市西淀川区出身の36歳。

北野高校卒業後、単身渡米し、ボストンのエマソン大学映画学科を卒業。国際的な広い視野でアメリカの現実、アメリカから見た日本を直視しました。

帰国後、映像制作会社で働き始めた頃、国連ボランティアとしてコンボ（当時のユーゴスラビア）にいる高校生の「日本招聘プロジェクト」事務局長として活動します。そのときに9・11同時多発テロが起きました。アメリカによるアフガニスタン攻撃を目の当たりにし、「武力は憎しみの連鎖しか生まない」と強く胸に刻みます。そして、侵略戦争反対をきっぱりかかげる日本共産党への入党を決意しました。

此花区生活と健康を守る会事務局員として、9年間に7000件の生活相談を受け、解決のために奔走しました。在阪ラジオ局の映画解説番組でも、シネマナビゲーターとして活躍しました。



「コンボ高校生の日本招聘プロジェクト」事務局長として広島を案内。左端が本人。011年9月